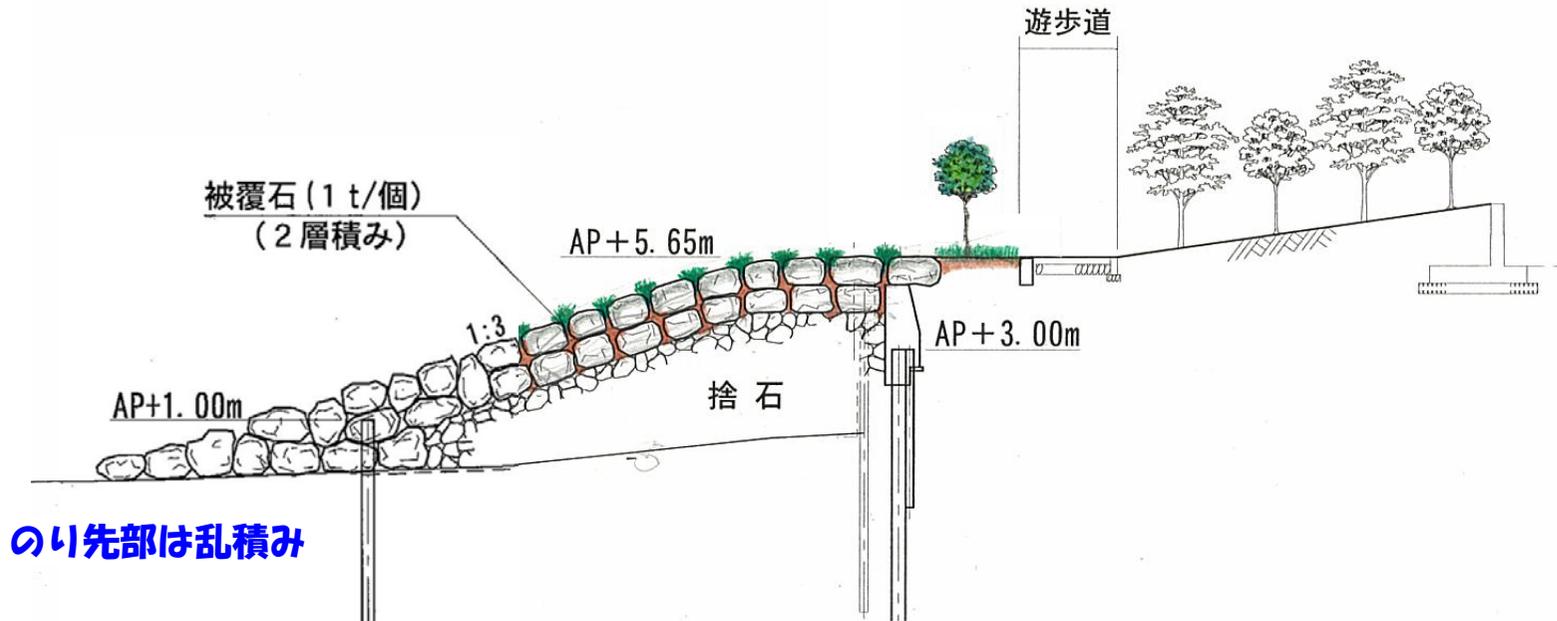


# 新基本断面ほか試行案の提案

資料-5

## 護岸新基本断面図（平成18年度検討結果）



### 計画の主旨と概要

- H18年度の施工断面に、よりよい工夫を行うものとした。
- 被覆方法を工夫して角張った断面形状を造らず（ハッキリとした護岸法線（稜線）を造ない）、全体的になめらかな形状とする。
- 石の隙間に植栽をほどこして人工感を緩和する。植栽の範囲は、潮位や波の影響をふまえて天端からA.P.+3.0mまでの範囲とする。
- 護岸と遊歩道の間には立木も植えることを考える。